

平成29年2月21日

中央区立郷土天文館

## 中央区立郷土天文館「タイムドーム明石」

### 企画展「江戸の装いと出土遺物」

#### 【企画展概要】

江戸時代の人々は、男女問わず「装い」に対して高い意識をもち、その様子は当時の錦絵にもみられます。装いに関する道具には、主に顔まわりを整えるもの、腰まわりにつけるもの、そして煙管などの嗜好品や履物などがあり、それらには多くの種類があります。このような装いに関する道具は、区内でおこなわれた発掘調査により、江戸時代の町人地、武家地、寺地など様々な遺跡から発見されました。特に足元の装いに欠かせない下駄は、中央区の遺跡では有機物が残りやすいという特徴があるため、多くが良好な状態で残っており、様々な形をみるることができます。

この度中央区立郷土天文館では、遺跡から出土した、頭から足元までの装いに関連する出土遺物を紹介いたします。それぞれの道具の豊富な種類と形をご覧になり、江戸時代の人々の感性にふれてみませんか。

#### 【期間等のご案内】

◎期 間 平成29年2月4日（土）～3月20日（祝・月）

◎時 間 ・火～金曜日 午前10時～午後7時

・土、日曜日 午後10時～午後5時

※閉館30分前まで入場可能

◎会 場 中央区立郷土天文館（タイムドーム明石）特別展示室

◎入場料 無料

◎休館日 毎週月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）

#### 【展示構成】

##### ①髪を整え飾り付ける道具

整髪のための笄や簪、櫛など、主に髪に関連するものを中心に、木製品や骨角製品、金属製品などの出土遺物を展示します。

##### ②化粧道具

白粉を入れたと考えられる陶磁器や紅入れに使われた紅猪口、鏡などの化粧に関連した出土遺物を展示します。また、お歯黒の際に使われた道具もふくめ、顔まわりを整えるためのものを展示します。

### ③腰まわりに身につけるもの

主に刀の付属品として用いられた小柄こづかや、刀の鐔つばなどの刀装具を展示します。このほか、喫煙道具などを腰に留めるための根付ねつけも展示し、腰まわりに身につける道具を紹介します。

### ④嗜好品

嗜好品に代表的されるものは煙管きせるです。煙管には、特に雁首がんくびや吸口すいこうの部分に装飾がほどこされているものが多くあり、当時の装いの一つとして展示します。

### ⑤履物

展示をする履物は木製品の下駄です。当時の様々な形と豊富な種類を紹介しながら、中央区特有の出土量の多さと保存状態の良さをみていただきます。

## 【交通機関等】

### ◎最寄り駅

地下鉄日比谷線 築地駅（3番・4番出口）徒歩7分

地下鉄有楽町線 新富町駅（4番・6番出口）徒歩10分

## 【問い合わせ先】

中央区立郷土天文館「タイムドーム明石」

中央区明石町12-1 中央区保健所等複合施設6階

電話：03-3546-5537